

第4回大野市屋内型子どもの遊び場整備事業基本計画策定委員会 議事メモ

令和5年3月20日(月) 13時30分～14時40分

場所：結とびあ 303

【出席者】

- ・全委員（10名）
- ・事務局（政策推進課 2名）
- ・京福コンサルタント株式会社福井支店（3名）

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) コンセプトと基本方針について

委員長：本日は、これまで皆様と議論してきた内容をもとに、とりまとめられた基本計画（案）について事務局から説明して頂く。最後の委員会となるため、基本計画（案）の内容についてお気付きの点があれば皆様から忌憚のない意見を頂きたい。

委員：序章（はじめに）の1行目『助け合い、支え合いによる大野らしい地域づくり』の文中に可能であれば『結』という言葉を入れて頂きたい。

事務局：説明文について再検討する。

委員長：5行目の『さらなる市民ニーズ・・・』以降の文が改行されているが、5行目以降は最後まで改行なしの方が分かりやすいのではないかと。

事務局：説明文について再検討する。

委員長：2ページから4ページのコンセプト、基本方針は見開きで合わせて見る事が出来るようにした方が分かりやすいのではないかと。構成的に難しいのであれば2ページの写真は省略してもよい。

事務局：構成について再検討する。

委員：3ページの基本方針②みんなが満足する遊び場の説明文の『イキイキと遊べ』は子ども、『快適に過ごすことができる子育て世代の拠点となる遊び場』は大人を対象とする『遊び場』としているが、子どもは『遊び場』、大人は『結の場』と使い分けてはどうか。みんなが満足する遊び場の説明文に序章と同様『結』という言葉を入れて頂きたい。

事務局：説明文について再検討する。

委員：多目的ホールが前回の委員会で提示された案よりもスペースが狭くなっている。幼児用トイレとやすらぎスペースをロビー前に配置して前回と同等のスペースを確保することはできないかと。

事務局：物理的に可能か精査し対応したい。

委員：思いやり駐車場を正面玄関側に整備する案に変更されているが、現在の身障者用の駐車スペースは、電柱の支線が駐車場に掛かっていて利用できない状況である。

事務局：基本計画では正面玄関側に思いやり駐車場を確保する方向で考えている。具体的な配置等については設計段階で精査する予定。

委員：現在、自転車置場は正面玄関北側の軒下のスペースを利用しているが、現状の通りとするのか。

事務局：現在、南側の体育館出入口の横に簡易サイクルラックが設置されている。自転車置場は屋根付きがいいのか。

委員：自転車置場は屋根付きの方がいい。正面玄関北側のスペースは幅が狭いため、多くの台数を駐輪できない。正面玄関か中庭に新たに設置した方がよい。

事務局：自転車置場は正面玄関か中庭に新たに確保する方向で検討する。

委員：動線的には前回の案より利用しやすくなったと感じる。ステージ南側の部屋を倉庫としているが、ステージ北側の放送室も倉庫にしてはどうか。完成当初はよいが、先の事を考えると収納スペースはある程度確保しておいた方がよい。ワークショップルーム側にも倉庫があった方がよいのではないかと。

委員：西側に外から利用する倉庫が2箇所設置されている。現在は商工会議所の備品も入っているが整理すれば、ある程度のスペースは確保できる。

事務局：施設内の倉庫については、設計段階で精査する。

委員：防災倉庫（備蓄倉庫）は必要ないのか。

事務局：現段階では、当施設に防災倉庫を設置する予定はない。

委員：多目的ルームに倉庫を設置するのであれば、非常口はワークショップルーム側に設置した方がよい。

事務局：例えば大きなワークショップイベントを開催する際は、多目的ルームを一時的に倉庫として使用することも考えられる。また、ワークショップルームには柱があるため、柱より南側（1/3程度のスペース）に据付の収納棚や水場を設置する予定でいる。北側（2/3）のスペースをワークショップルームとして活用する計画である。

委員：コストを抑える観点から現状の建物の構造を活かし、理想の計画を落とし込むのは中々難しいことだと思うが、中途半端な施設にならないように配慮して頂きたい。

委員：ロビー側に幼児用トイレとやすらぎスペースを配置するのは、玄関からも遊びのエリア（体育館）からも近くなるので、子どもの利用動線を考えるといいと思う。

委員：今回の計画は子どもの遊び場がメインであるので、ワークショップルームや多目的ルームの活用方法については追々検討すればよいのではないかと。ロビーからワークショップルームへ向かう通路が狭くないか心配である。利用者がすれ違いできる程度の幅員を確保してほしい。

事務局：現在、通路の西側に大野市と友好市町の特産品などを展示するガラスケースが設置されている。本整備において全て撤去する計画であるため、すれ違いができる十分な通路幅は確保できる。

事務局：余裕のある通路の幅を確保するのであれば、体育館側の壁は構造壁となっているため改修は困難であるが、多目的ルーム側の壁を改修することは可能である。

委員：現状はロビーから遊びのエリア（体育館）にストレートに入れる動線となっているが、幼児用トイレとやすらぎスペースをロビー側に配置すると、鍵型の動線になり入りづらくなるのではないか。7ページに記載されている『大野城』は『越前大野城』にして頂きたい。

委員：縦向きの多目的ルームを横向きにすることで、現状の動線を確保することが可能になるのではないか。そうすれば非常口も現状の開口部を活用できるのではないか。

事務局：トイレ周辺の配置については再度検討する。

委員長：南北のキャットウォークから2階のネット遊具には自由に移動はできるのか。

事務局：自由に移動は可能である。ネット遊具への出入りができるようにキャットウォークの転落防止柵に部分的に開口部を設ける計画である。

委員長：8ページのフォトスポットの写真は、前回の委員会の意見でイベント時に対応することで常設をしない方がよいという意見があったが、そのまま掲載するのか。

事務局：写真を掲載するかは再度検討し、掲載するのであればイベントの一環で導入するイメージであることを分かるように記載する。

委員：各エリアの説明で8～9ページについては『大野らしさ』という文言が入っているが、10～11ページは『大野らしさ』という表現が記載されていないため入れた方がよいのではないか。

委員長：基本方針①で『大野らしさを取り入れた遊具を設置する』と記載されているので、各エリアの説明を統一するならば、大野らしさを表現する具体的な説明が入っている10～11ページに8～9ページの文言を修正した方がよいのではないか。

事務局：8～9ページの説明文を修正する。

委員：導入する施設や設備は10年経てば、製品自体が廃盤になってしまう。点検も含めて持続可能な運営ができるように遊具施設や設備の導入にあたっては配慮して頂きたい。

委員：基本計画の段階であるため、各遊具の写真に参考イメージと入れておいた方がよい。

事務局：あくまでも遊具の写真は参考事例であるため、注意書きを記載する方向で検討する。

委員：遊びのエリアは裸足で利用することも可能なのか。

事務局：土足厳禁ではあるが、裸足で遊んでもらっても構わない。

委員：白山市の施設では、利用の際は必ず靴下を購入することになっていて受付にて300円で販売している。次回利用からは購入した靴下の使いまわしは可能である。敦賀のネット遊具も必ず靴下を着用することと記載されている。加賀市のこにこパークは特に制限はなかった。ネットの網のサイズも関係しているのかもしれない。保育士の視点から考えると裸足で自由に遊びまわるのが理想ではあるが、ケガの観点から靴下を着用した方がよいのであれば、やむを得ない。

事務局：裸足でも遊べる遊具を検討した方がよいのか。

委員：可能であればその方がよい。

事務局：現段階では遊具の細部まで詰めてはいないが、設計時には安全面に配慮し可能であれば裸足で遊ぶことを前提とした遊具の計画を進めていきたい。

委員：裸足で遊べる施設として今後進めていくということだが、遊びのスペースに床暖房は整備されるのか。

事務局：コストも掛かることから床暖房等の設備導入は考えていない。

委員：子ども達は冬場の寒い時期でも遊んでいるうちに汗もかくので問題はない。

事務局：理想は裸足でも遊ぶことが出来る遊具として実施設計の段階で遊具メーカー調整を図り進めていくが、冬場の幼児等の利用で心配であれば上履きや靴下を履かせるなど、利用者側で判断する方向でよいのではないかと。

委員：11ページに記載されている『大野城』は『越前大野城』にして頂きたい。

委員：現在の東側の雨漏り対策は考えているのか。

事務局：現在雨漏りしている箇所については、シート防水にて防水対策を行う計画である。

委員：遊具のイメージが分かりやすく、全体イメージもバランスよく配置され空間にゆとりがあり見晴らしもよいレイアウトとなっているので問題はない。

委員：子ども達は各学校で避難訓練を実施している。当施設が整備された際に、子ども達が迅速、安全に避難ができるように、避難場所のシミュレーションを行い避難経路の表示など、子ども達のも分かりやすいサインの設置を考えて頂きたい。

事務局：設計段階で災害時の利用者への安全対策も含めて十分に検討を行う。

委員：20ページの地図の裁判所があった場所が現在工事中であるが、ここに駐車場が整備される予定はないのか。

事務局：広場として整備する予定で駐車場の整備予定はない。

事務局：不足する駐車台数を確保するための駐車場整備の場所については、西部児童館横の空き地を駐車場として整備すると決め打ちするのではなく、今後、市役所内で検討した上で決定していく。

委員：亀山南の駐車場を当施設の駐車場とした場合、国道476号線沿いには歩道が整備されていないため非常に危険である。駐車場の決定の際には、駐車場から施設までの子ども達の安全な歩行動線が確保できるように検討して頂きたい。西部児童館横のスペースは道路沿いに歩道が整備されているため、駐車場整備の候補地としては相応しい。

事務局：利用者の安全を第一に考え今後、駐車場候補地を決定していく。

事務局：現在の計画内容にて全体の事業費は事務局内で拵んでいる。今後、市議会やパブリックコメントで出た意見を反映させた基本計画書に記載する予定でいる。

委員長：基本計画（案）について本日頂いた意見は、事務局にて再度修正を加えて頂くとして、これまでの4回の委員会にて議論してとりまとめた基本計画（案）について皆様から賛同頂けたということによろしいかと。

委員一同：了承

委員長：では、委員会の方を閉会する。

事務局：本日、議論して頂いた意見を修正し、基本計画（案）をとりまとめていきます。

委員長：修正した計画書の最終確認は必要か。

事務局：今後のスケジュールは、今年度中に本日頂いた意見を精査し基本計画（案）に反映し、次年度の4月に市議会に提案する。市議会が出た意見をさらに反映させた内容をパブリックコメント（住民からの意見徴収）を実施し、基本計画の策定という流れになる。パブリックコメントの実施の際は、大野市ホームページに基本計画を掲載する予定ですので、それをもって報告とさせて頂きたい。パブリックコメントを受け、最終的に完成したものをプレスリリースする予定である。

委員：委員長だけでも本日の修正した最終確認をして頂いた方がよいのではないか。

事務局：委員長には御礼の挨拶を兼ねて報告に伺う予定をしている。

事務局：当委員会はタイトなスケジュールにも関わらず、皆様御出席頂きありがとうございました。それでは最後に委員より閉会の挨拶をお願いしたい。

委員：本日は皆様お疲れ様でした。全4回の委員会で皆様と多くの議論を交わすことが出来ました。第1回の時点から比べると、私自身も、施設整備における全貌が何となくイメージできるような資料がまとまったのではないかと感じている。アイデアの面では、市民のニーズ調査やアンケート調査が少し弱い気もする。是非、今後パブリックコメント等で市民の意見を吸い上げ、特に母親クラブや主婦層の意見を大切にして、今後の計画に反映していただき、より良いものができるように今後、よろしくをお願いしたい。本日は皆様お疲れ様でした。